

映画「星に語りて *Starry Sky*」 in いしかり自主上映

2011年3月11日 東日本大震災
障がいのある人と支援者の物語



【日 時】 (上映時間115分)

3月13日 (金) ①10:00~

3月14日 (土) ②10:00~ ③13:30~

【場 所】

石狩市総合保健福祉センター りんくる

3F 視聴覚室

(石狩市花川北6条1丁目41-1)

【入場無料】

星に語りて *Starry Sky*

きょうされん40周年記念映画

松本 動 監督作品

主催:P&Aいしかり (石狩市手をつなぐ育成会・石狩市障がい者支援センター保護者会・
社会福祉法人はるにれの里)

共催:石狩市

後援:石狩市教育委員会・石狩市社会福祉協議会・石狩市地域自立支援協議会

※ お問い合わせ P&Aいしかり事務局 090-1765-1166 (金子)
P&Aいしかり ホームページアドレス <https://p-a-ishikari.jimdofree.com/>



2011年3月11日 障がい者の状況と支援 者の活動を描く劇映画



舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性所長が励ましながら、一日も早く障がいのある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。また全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障がい者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障がいのある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していた。



きょうされんは、1977年に障がいのある人たちの願いをもとに、16カ所の共同作業所によって結成されました。現在、約1,870カ所の障がい者事業所事業所加盟し、共に活動しています。『きょうされん』では、これまでに4回の映画製作・上映活動を続けてきました。40周年記念事業として製作された、今から100年前に精神病者を救おうと奔走した呉秀三の功績を描くドキュメンタリー映画「夜明け

前」に次ぐ5回目の作品は、大災害時における障がいのある人の状況と支援者の活動を描く劇映画です。2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城県の牡鹿半島東沖で発生したマグニチュード9.0のわが国観測史上最大の地震。東日本大震災による傷跡は、未だに人々の心の中に深く刻まれています。しかし、1万8千人を超える死者の中で、障がいのある人の死亡率が全住民の2倍だとい

う事実を知る人は少ないのではないのでしょうか。この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を山本おさむ氏の脚本と新進気鋭の松本動監督によって描き出す群像劇です。実力派俳優陣に加え、障がい当事者を出演者として起用し、人間味あふれるドラマが繰り広げられます。

脚本 山本おさむ 監督 松本 動